

大池



上岩出小学校
学校だより No.8
令和6年12月24日
文責：向竹

(校訓) 花のように美しく 水のようにすなおで 石のように強く

(学校教育目標) 笑顔いっぱい あいさついっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい

～つながる 広がる チーム上岩出～

明日から、冬休みです。

いよいよ明日から、皆さんが待ちに待った冬休みです。13日間という短い期間ではありますが、大晦日、お正月等、一年の締めくくりと始まりを迎える大切な時期です。昔から伝わる家庭での行事などを、家族で行うご家庭もあるかもしれません。または、遠く離れた親戚の人に会いに行ってお楽しみ過ごす人もいることでしょう。どんな形にせよ、新しい年を親しい人たちと過ごせたら良いですね。

冬休みに入るに当たって、各学年からいろいろな注意することや頑張ることがお便りで伝えられています。その中でも、『お手伝い』についてお話しします。先週、1年生の教室でお手伝いについて担任の先生から、「家族の一員として、自分で、出来ることをしましょうね。続けて出来るともっといいですね。」と、お話がありました。少し前の新聞にも『お手伝いの効果』が上げられていました。①見通しをもって行動する力 ②自己肯定感が育つ ③誰かを大切に思う気持ちが育まれる等です。特に、台所でのお手伝いは、料理、盛り付け、後片付けと成長段階によって異なりますが、段取りよくするためにいろいろ考えなければならないのでたくさんのメリットがあるようです。しかし、やはり一番大切なことは、お手伝いをするによって失敗した時、成功した時、助かった時など周りの家族の温かい言葉(例えば、ありがとう)のサポートで、その子の自信に繋がります。「やってよかった。」「また、頑張ろう。」「こんなこともできるな。」等、自分で家族のために出来ることを試行錯誤しながら挑戦するようになります。自分は、誰かのために役立っていると感じたり、家族から褒められたりすると自己肯定感も高まります。また、お手伝いを続けていくことで、達成感を覚えたり、上達してきて、ますます家族の中で役に立つ存在であると自信を持つことが出来ます。

日頃からお手伝いをしている子も、していない子もこの冬休みを『遊んで終わる』のではなく、『家族の一員として過ごす』ことを親子で考えて、充実した休みにしてください。

2学期には、たくさんの行事がありどの子どもたちも楽しく活動することができました。これも、保護者の方や、地域の皆様のご理解、ご協力があったからです。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。そして、皆様、よいお年をお迎えください。令和7年1月7日(火)の始業式には、元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。



第70回那賀地方読書感想文コンクール 特選に選ばれた作品を紹介します。

タイトル『わくわくのむこうがわ』

本の題名『ドアの むこうの国への パスポート』 著者：トンケ・ドラフト&リンデルト・クロムハウト

6年

ぼくは、小さいころから、ドラえもんというアニメが好きです。ドラえもんは、ふしぎな道具をたくさん持っていて、小さなポケットから大きな道具をいっぱい出します。その中のどこでもドアという道具は、行きたい場

所を口に出して言うと、その場所に行くことができるのです。ぼくは、アニメをみるといつも、ぼくだったら、あそこに行きたいなここに行きたいなと想像しています。この本の題名と表紙を見たとき、そのアニメのように、ドアのむこうは、わくわくする世界であってほしいと期待をこめて読み始めました。

この本は、クラスメイトの二人がある本の作家の家を訪ね、秘密のドアを見つけます。その部屋は、ビザを持っている人しか入れません。作家にビザを作るための紙を配られたクラスメイトたちは、みんなで協力してビザを作ります。それなのに、大人の人がいなくちゃ入れないのです。このときのぼくは、この物語にひきこまれていました。ドアのむこうの世界を想像しては、はやく中を見たい気持ちでいっぱいになり、自分もこのクラスメイトの中に入っているような感覚でした。そして、やっと銀のカギでドアのむこうに入れました。そこには、長いろうかがあってクラスメイトたちは、おびえていました。その先には、ぼくもまったく想像もつかなかった鏡がありました。そのときのクラスメイトたちは、がっかりした気持ちとどうじに安心した様子でした。

ぼくも、ずっと楽しみにしていたドアのむこうが期待していた世界ではなく、ただの鏡だったので、すこし、がっかりとしました。もう一つ、ドアに入る前に、作家から大使の許可が必要、ともいわれたので、その大使が気になりましたが、正体は、ねこでした。

ぼくがこの本を読み終えて、感じたことは、ドアのむこうに期待して、クラスメイトのみんなで、どうしたら入れるのか考えている時間が一番楽しかったな、ということです。いざ入ってみると、アニメの様な世界は無く、少しがっかりはしたけれど、ここにくるまでの道のりは、わくわくどきどき過ごせたとし、大使の質問に答えるうちに、友だちのことがよく知れ、仲が深まった感じました。ぼくにもそんな経験が、あります。それは、児童長として、学校のルールを変えようと動いたときです。何度も校長先生の許可をもらおうと、あの手この手をみんなで考えては、直談判に行きました。結果的には、ルール変更とはいかなかったけれど、クラスみんなで作戦を考え、意見交換をしたことで、一緒に取り組む仲間のきずなが強まったことに気づきました。特に、ぼく自身が新しい自分を知るきっかけになりました。この本を通して、改めて、同じ目標に向かって動く時間が、ぼくは大好きだと思いました。



お願いとお知らせ

冬休み期間中の連絡について

学校への連絡は、下記の日時となっています。

年末・・・12月25日(水)～12月27日(金)

年始・・・1月6日(月)

この期間の午前8時10分～午後4時40分の間

令和6年12月28日(木)～令和7年1月3日(金)
は、留守番電話対応となります。ご了承ください。

授業参観日の日程変更について

4月から予定していました3学期の授業参観ですが、参観後の保護者学級講師先生との日程調整で

令和7年2月4日(火)から

令和7年2月6日(木)に

変更させていただきます。急な変更で大変申し訳ございません。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。